



SEITOKU

生涯学習研究所だより

Contents

- ◆ 所長挨拶
- ◆ ご案内「アートパーク9 ～にちようびの野望～」
- ◆ 報告 2015 年度の研究・実践活動
- ◆ 卒業生の今 part.1
- ◆ 2016 年度運営委員・研究員の紹介
- ◆ 最新研究「暗黙知の見える化研究へのお誘い」

VOL.

2

発行／聖徳大学生涯学習研究所
編集長／長江曜子
編集支援／有川かおり
発行月／2016 年6月
〒271-8551 千葉県松戸市松戸 1169
聖徳大学生涯学習社会貢献センター6階
TEL 047-365-5691 FAX 047-365-5692
MAIL frontier@seitoku.ac.jp



明日のまっぴら創造する！！～第2回社会教育フォーラム～

所長挨拶



聖徳大学生涯学習研究所は、お陰さまで 18 周年を迎えることができました。これも、地域、全国、国際的な生涯学習に関するニーズの広がり賜物だと、心から感謝しております。

さて、本年度の生涯学習研究所は、次の3つを柱にして活動をして参ります。

①生涯学習に関する研究:特に力を入れたいのが、テーマ別研究会の活性化です。研究所の8名の研究員による、「子ども」「青少年」「高齢者」等の、地域の課題を掘り下げた、産学官民の連携による実の有る研究会を実施します。

②生涯学習に関するイベントの企画・運営・実施:7月のアートパークや、10月の第3回社会教育フォーラム、12月の第2回ジュニア夢カレッジ(プロから学ぶ子どものキャリア教育)等を予定しています。

③情報の発信:ホームページ、Facebook、生涯学習研究所だより等での情報発信をします。

東京駅からJR上野東京ラインに乗れば、わずか23分で着く、松戸駅東口から徒歩1分の距離にある、聖徳大学生涯学習研究所にぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

聖徳大学生涯学習研究所 所長 長江 曜子

ご案内「アートパーク9 ～にちようびの野望～」

2008年から産官学民連携で、継続して実施しているアートパークは、今年度で9回目の開催となります。今年度は、「松戸市立中学校美術部有志」のワークショップも加わることになり、さらにパワーアップしたアートパークになる予感！？実施の有無や、活動内容等はブログ(<http://artpark.exblog.jp/>)をご確認ください。絵の具等を使用するワークショップも予定しておりますので、汚れても良い服装でご来場下さい。沢山の方のご来場をお待ちしております。

記

日時:2016年7月3日(日) 10:00～15:00
※小雨決行、雨天の場合7月17日(日)に延期

場所:松戸中央公園

参加費:無料

事前申込み:不要

対象:松戸市内外の幼児、小学生、親子 以上



前年のアートパークの様子



ホームページ・公式 Facebook のご案内

聖徳大学生涯学習研究所の最新情報は、ホームページ・公式 Facebook にて公開しております。ぜひご覧ください。

<ホームページ> <http://www.tunagari.jp/>

<公式 Facebook> <https://www.facebook.com/seitokusyougai/>

2016 年度 研究員・事務局の紹介

2016 年度の研究員・事務局は、多様な専門分野をもつ、下記の 10 名となりました。各々の専門分野を活かしたテーマ別研究会、産学官民連携事業等の実施、研究紀要の発行を通し、生涯学習社会実現に向けての実践・研究を推進していきます。

氏名	所属・職位	専門分野
長江 曜子	所長・研究員 児童学科 教授、聖徳大学オープン・アカデミー 校長	・少子高齢社会研究 ・日本近代文学 ・葬送文化研究
大成 哲雄	研究員 児童学科 教授	・美術教育
西村 美東士	研究員 文学科 教授	・社会教育 ・青年教育 ・暗黙知教材の開発 ・子育てのまちづくり
蓑輪 裕子	研究員 総合文化学科 教授	・建築計画 ・住居学
神谷 明宏	研究員 児童学科 准教授	・グループワーク ・野外教育活動
川口 一美	研究員 社会福祉学科 准教授	・社会学 ・老人問題 ・生きがい
上田 智子	研究員 児童学科 講師	・教育社会学
佐藤 可奈	研究員 社会福祉学科 講師	・老年学 ・高齢者福祉
有川 かおり	事務局 生涯学習研究所 助手	・生涯教育 ・青少年教育 ・社会デザイン
谷 由美子	事務局 生涯学習研究所 非常勤職員	-

最新研究「暗黙知の見える化研究へのお誘い」 聖徳大学文学科教授（本研究所研究員）西村美東士

暗黙知の構造

われわれの研究では、暗黙知の構造を図1のような氷山モデルでとらえている(本図は若者の社会化支援者の例である)。最後まで言語化、形式知化できない深層の暗黙知は興味深いところである。だが、子育て者、若者、職業人等の幸福追求の一環としての学びの要求に応えるためには、問題解決のための科学的なアプローチによって、第3層までの形式知化を進めることが、研究者としての急務であると考えている。ただし、第4層といえども、心身の体験学習によって能力達成はできる可能性はあり、教育実践としては追求が期待されるところである。そのような開発的実践との往復活動により、暗黙知研究は進展するものと思われる。

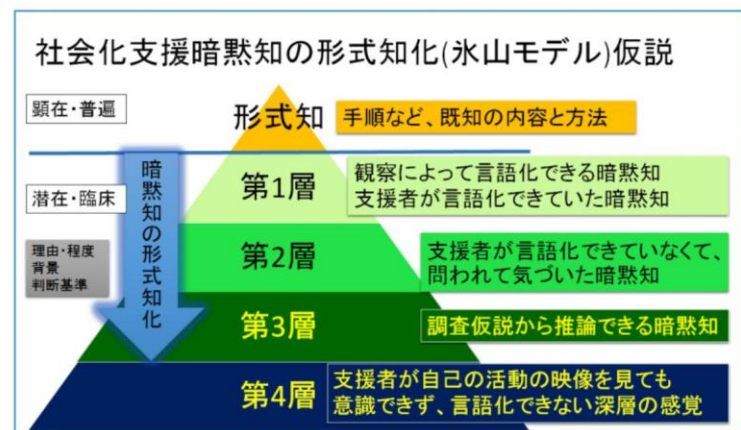


図1 社会化支援暗黙知の形式知化（氷山モデル）仮説

子育て暗黙知の可視化

2005 年度文部科学省選定聖徳大学社会連携研究推進事業「連鎖的参画による子育てのまちづくりに関する開発的研究」では、技術・技能教育研究所長森和夫氏の指導を得て、図2のような教材を作成した。

人形の扱い 解説

- 1歳児くらいだと自分の感情に行動がついて行けないことがあります。こうしたと思っていてもそのようにできません。
- 人形は人と同じに解釈しているのだけれど、どうもそのように反応がないので、物足りなく思うことがあります。
- 櫛でとかしてあげようとしているので優しいところもあります。
- 箱の中から物を出してしまっているのは、この年齢ではよく見られることです。

図2 暗黙知教材「子育て支援のポイント」より

子どもの「やんちゃな活動」の動画を見せ、「あなたならどうする」と考えさせたあとに、ベテランの保育士がそれをどう理解し、どう対応したかを示す。このような学び方は、親だけでなく、保育を専門に学ぶ学生のための実習前教育などにも効果的だと考える。

セールス等の暗黙知の可視化

これまでの大学は、自己と職業とのマッチングを考えさせることなどはやってきた。だが、実際の仕事の仕方を教えるのは、就職先も多様であることから、ほとんど不可能と思われてきたようだ。そして、学生は「学校という群れから離れて社会に一匹で飛び出した」とき、仕事の手順だけ教わり、あとの多くは「カン・コツは見て盗め」と言って突き放される。

われわれは、2014 年度から放送大学教育振興会助成研究「キャリア教育のための暗黙知教材の開発」を進めてきた。そこでは、ICT システムを活用して、下図のようにベテランの「カン・コツ」を考えさせる。このことによって、今日の個人化する若者たちも、ベテランの活動を共感的、臨臨床的にとらえ、「なぜ、どのように、どんな基準で」と問いを発して、帰納的に特殊解を見出すことができるようになる。形式知の一般解からの演繹的な学修だけでは、職業へのこのような主体的な構えを身につけさせるのは難しいだろう。車検の満了日を見ることは手順書には書かれていても、お客様に関する推察力という豊かな経験値は、図3に示したような動画による技能分析表によらないと理解できないのである。

ご来場者への対応をする

あなただったら、来場されるお客様の何を見て、何を判断しますか。
日差しも強くないのにサングラスをかけているお客様が来場された場合は、どのように対応しますか。
自分の見方・考え方をまとめてから、クリックし、ベテランの答えを読んでください。

主な手順	No.	具体的な行動の仕方	ポイント・判断基準
1挨拶をする。	1-1	「いらっしゃいませ」	お客様より先に言う。
	1-2	現在所有する車が、どういう状況にあるかを把握する。そのため、来店されたときの車の車種は何か、車検の満了日(フロントガラスに貼ってある)はいつかを見る。	じろじろ見ずにさりげなく。瞬間的に情報を得るように心がける。
	1-3	第一印象でお客様についての推測はするが、先入観はもたないようにする。	判断していることはありますが、風貌、アクション、第一印象など確かめていることは何ですか。
			日差しが強くないのにサングラスをかけているお客様の場合、直接グイグイ来られるのを嫌っているかという推測はするが、基本的にはニュートラルな心構えで、お客様に平等に接する。

図3 暗黙知教材「外車販売のポイント」より

このほか、今年度からは、科研費研究「個人化する若者に対する社会化支援における暗黙知の解明」を始めた。ときの政策のブレの陰で埋もれていく若者支援のベテランたちの「カンとコツ」の蓄積を、広く関係者の財産にしていきたい。

研究者だけでなく、子育て者、支援者、企業、学生などの幅広い協力を得て、ベテラン人材の発見、職業人像や課題の整理、必要能力の構造化、動画収録、暗黙知インタビュー、技能分析表の作成と教材化、実践による検証の面でコラボを進めていきたい。